

まちづくり達成状況報告書（事務事業点検シート）

課等名：学校給食センター シートNo：45 作成日：2024/2/14

① 総合計画上の位置付けと事務事業説明

後期 基本 計画	施策の大綱	Ⅲ学校教育・生涯学習の推進	背景・課題 食料自給率等を理解し尊重しようとする視点から、地域の特性を生かした食生活である地場産物を活用します。 地場産物を活用するうえでの課題としては、品質、量などが天候に影響を受けることや、市場価格より高価になります。	目的・意図 常総市の地場産物使用率を50%に目標を定め、地場産物の生産者の方々の協力を得ながら、より多くの常総市産の食材を優先して使用し、郷土への関心を高め、自然の恵みや働く人々への感謝の心を養うことを目的とした安全安心な学校給食を提供します。
	施策の目標	1学校教育を充実し、次世代を育てる		
	施策	1学校教育		
	施策内容	学校給食の充実		
	その他、根拠法令 及び分野別計画	—		
	事務事業名	地場産物活用事業		

② インプット（投入）

主な 予算 科目	会計名	
	一般会計	
	款	教育費
	項	保健体育費
	目	豊岡、玉学校給食センター費
	事業	学校給食センター運営管理経費

③ 主なアクティビティ（活動）とアウトプット（結果）

アクティビティ（活動）				アウトプット（結果）	
活動名	対象者	活動指標（回数・件数・日数等）		活動指標（参加者数・面積等）	
		R5年度実績値	R5年度目標値	R5年度実績値	R5年度目標値
地場産物会議（豊岡）	生産者	11回	11回	30人（延べ）	55人（延べ）
地場産物会議（玉）	生産者	11回	11回	25人（延べ）	55人（延べ）

④ 初期・中間アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R5年度目標値
地場産物活用率 （11月地産地消強化月間のうち4日間）	73%	50%

⑤ 最終アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R9年度目標値
地場産物活用率 （11月地産地消強化月間のうち4日間）	73%	85%

⑥ 点検

改善の余地						今後の方向性
☐	コスト	☒	活動	☐	成果	☐
業務の振り返り						
現在、地場産物納入業者が5者と少ないことから、品質、量が天候に左右されやすい状況にあります。今後は、より多くの業者の参加を推進し、安定供給を図ります。						今後はより多くの納入業者の参加を推進し、安定供給を図り、地場産物活用率の向上を目指すとともに、児童生徒に安全安心な学校給食の提供を実施します。